

事 務 連 絡
令和7年9月9日

地区薬剤師会 医療保険担当役員 様

公益社団法人 東京都薬剤師会

東京都後期高齢者医療広域連合からのお知らせ
適正服薬に関する通知の送付に伴う事業の周知について(周知依頼)

平素は当会の会務推進にご尽力賜り心より御礼申し上げます。

さて、今般、東京都後期高齢者医療広域連合より標記に関する周知依頼がありました。

重複投薬や多剤投与に該当する被保険者が必要以上に医薬品を使用している状態でおきる副作用などの有害事象を減らすことで被保険者の健康を保持するとともに、医療費の適正化を繋げることを目的として通知書及び啓発リーフレットを対象の被保険者へ送付についての連絡です。(添付資料参照)。

つきましては、被保険者である患者より相談を受けた際は、適切にご対応いただきますよう地区会員薬局にご周知下さいますようお願い申し上げます。

東京都後期高齢者医療広域連合から

発送予定日:令和7年8月27日(水)

対象者数:7,993人(①重複投薬 758人、②多剤投与 7,235人)

通知内容:①通知文

②リーフレット

③専用封筒

問い合わせ先:東京都後期高齢者医療広域連合

保険部 管理課 保健事業・医療費適正化係

電話 03-3222-4507

東京都薬剤師会 事務局 医療保険課

7 東広保管第278号

令和 7 年 8 月 20 日

公益社団法人 東京都薬剤師会

会長 高橋 正夫 様

東京都後期高齢者医療広域連合長

吉住 健一



適正服薬に関する通知の送付に伴う事業の周知について（依頼）

日頃から、当広域連合の後期高齢者医療制度事業の運営にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

さて、当広域連合では、重複投薬や多剤投与に該当する被保険者が必要以上に医薬品を使用している状態でおきる副作用などの有害事象を減らすことで、被保険者の健康を保持するとともに、医療費の適正化に繋げることを目的として、適正服薬に関する通知を別紙のとおり実施いたします。

ご多忙のところ恐れ入りますが、貴会における関係機関への周知の程よろしく願いいたします。

【問合わせ先】

〒102-0072 千代田区飯田橋三丁目 5 番 1 号

東京都後期高齢者医療広域連合

保険部 管理課 保健事業・医療費適正化係

担当：道法(どうほう)・小目(こめ)

Tel: 03-3222-4507

Mail: kanrika@tokyo-kouiki.jp

令和7年度 適正服薬推進事業

1 目 的

重複投薬や多剤投与に該当する被保険者が必要以上に医薬品を使用している状態でおきる副作用等の有害事象を減らすことで被保険者の健康を保持するとともに、適正な服薬を通じて医療費の適正化に繋げる。

2 事業概要

(1) 抽出対象

①重複投薬の条件

判定条件	令和7年3月及び令和7年4月の複数月で同一成分の内服薬(※1)が複数医療機関から処方されている被保険者 ※1 抽出期間において、ひと月の同一成分の薬剤の合計処方日数が42日以上
------	---

②多剤投与の条件

判定条件	令和7年3月及び令和7年4月の複数月で内服薬(※2)が複数医療機関から計10種類以上を処方されている被保険者 ※2 抽出期間において、ひと月の同一成分の薬剤の合計処方日数が14日以上
------	--

●がん、精神疾患、指定難病等に該当する被保険者を除く。

対象データ

レセプト電子データ	令和7年3月分：令和7年1月診療分～令和7年3月診療分 令和7年4月分：令和7年2月診療分～令和7年4月診療分
-----------	--

(2) 対象者数

7,993人(①重複投薬 758人、②多剤投与 7,235人)

(3) 通知内容(重複投薬・多剤投与共通)

①通知文

重複投薬及び多剤投与の観点から令和7年4月時点の処方薬剤名等を記載し、医師や薬剤師に薬について相談するよう促す。

②リーフレット「あなたのくすり いくつ飲んでいますか？」

高齢者になると薬の数が増えて副作用が起こりやすくなることへの注意喚起をし、気になる症状があれば医師や薬剤師に相談するよう促す。

3 発送予定日

令和7年8月27日(水)

4 問い合わせ対応

送付物に関する被保険者等からの問い合わせについては、委託事業者（(株)データホライゾン）設置のサポートデスクで対応する。

■本事業関連のサポートデスク

0120-122-192

開設予定期間：8月27日(水)～10月31日(金) ※土日、祝日は除く

受付時間：午前9時～午後5時

5 効果分析等

令和7年度中に、通知の効果分析を実施する。

あなたのくすり いくつ飲んでいますか？



高齢になると、くすりの数が増えて
副作用が起こりやすくなるので
注意が必要です。

監 修：東京大学大学院医学系研究科老年病学教授 秋下 雅弘
厚生労働省
制 作：一般社団法人 くすりの適正使用協議会
日本製薬工業協会

なぜ、高齢者ではくすりの数が増えるの？

高齢になると、複数の病気を持つ人が増えてきます。病気の数が増え、受診する医療機関が複数になることもくすりが増える原因となります。

75歳以上の高齢者の4割は5種類以上のくすりを使っています。高齢者では、使っているくすりが6種類以上になると、副作用を起こす人が増えるというデータもあります。

「ポリファーマシー」って聞いたことがありますか

多くのくすりを服用しているために、副作用を起こしたり、きちんとくすりが増えなくなったりしている状態をいいます。単に服用するくすりの数が多いことではありません。



なぜ、高齢者では副作用が起こりやすいの？

高齢になると、肝臓や腎臓の働きが弱くなり、くすりを分解したり、体の外に排泄したりするのに時間がかかるようになります。

また、くすりの数が増えると、くすり同士が相互に影響し合うこともあります。

そのため、くすりが効きすぎてしまったり、効かなかったり、副作用が出やすくなったりすることがあります。



「なにか変だな」「いつもと違う」と感じたら？

くすりを飲んでいて、次のような症状が気になることはありませんか？くすりが追加されたり、変わったりした後は、特に注意しましょう。



医師、薬剤師に相談

気になる症状があっても、勝手にくすりをやめたり、減らしたりするのはよくありません。くすりが多いからといって必ず減らすべきということではありません。くすりによって、急にやめると病状が悪化したり、思わぬ副作用が出る場合があります。必ず、医師や薬剤師に相談しましょう。



相談する時は具体的にどうすればいいの？

- 使っているくすりは、必ず全部伝えましょう。くすり以外で毎日飲んでいる健康食品やサプリメントがある場合は、その情報も伝えましょう。
- いつ頃から、どのような症状が出てきたのか、気になる症状についてメモしておきましょう。



目頃から、注意しておくことは？

- 目頃から、かかりつけの医師や薬剤師を持って、処方されているくすりの情報を把握してもらっておくのが安心です。
- 自分の処方されているくすりがわかるように、お薬手帳を持ちましょう。お薬手帳は1冊にまとめておきましょう。



もっと詳しいことが知りたい方は、一般社団法人日本老年医学会のホームページに掲載のパンフレットをご覧ください

多すぎる薬と副作用



お薬と上手につきあうために

1 お薬を正しく飲みましょう。

お薬は毎日決まった時間に決められた量を服用しましょう。コップ1杯の水またはぬるま湯で飲みましょう。



お薬はコップ1杯の水で!!

- ① 初めの1/3でのを潤す
- ② 次の1/3で薬を飲みこむ
- ③ 最後の1/3で胃まで届ける

2 かかりつけ薬剤師(薬局)をもちましょう。 お薬手帳を1冊にしましょう。

病気ごとに異なる医療機関にかかっている場合は、お薬の成分が重複したり、増えすぎたりすることがあります。かかりつけ薬剤師(薬局)を持ち、自分のお薬を把握してもらいましょう。複数のお薬手帳をお持ちの場合は薬局で1冊にまとめてもらいましょう。



3 お薬以外にサプリメントや健康食品を飲んでいたら、 医師・薬剤師に伝えましょう。

サプリメントや健康食品には、お薬と飲み合わせが良くないものがあります。普段から飲んでいるものがあれば、医師・薬剤師に伝えましょう。



4 お薬の飲み残しがある場合は、 医師・薬剤師に相談しましょう。

飲み忘れなどで、手元にお薬が残っている場合は、次の診療時に医師や薬剤師に相談し、処方量の調整してもらいましょう。

※ご自身の判断でお薬を中断したり、減らしたりせず、必ず医師や薬剤師に相談しましょう

〒123-4567
△△市□□1-2-3
サンブル 花子 様



00000000001



東京都後期高齢者医療広域連合
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋三丁目5番1号
東京区政会館16階

お薬についてのお知らせ

この通知書は、お薬を多く処方されている方や成分が重複したお薬を処方されている可能性がある方にお送りしています。

お薬の数が増えたり、同じ成分のお薬を服用していたりすると、副作用が起こりやすくなるので注意が必要です。

お薬と上手につきあうために、お薬の確認をお願いします。

問い合わせ番号：00000000001

「このお知らせ」に関するお問合せは、
サポートデスク(フリーダイヤル)

受付時間 9:00～17:00
土日、祝日は除きます。

開設期間 10月31日(金)まで
※サポートデスクは(株)データライゾンに委託しています。

通話無料 0120-122-192

令和7年4月時点で処方されていたお薬

「お薬を確認しよう」

処方箋が発行された診療所・病院と薬局ごとに下記の表のとおりグループを作り、グループごとのお薬の一覧を次ページに掲載しました。

ご自身のお薬の種類や成分の重複状況について、ご確認ください。

■あなたが受診した医療機関とお薬の処方を受けた薬局

グループ	医療機関名	薬局名
A	〇〇総合クリニック	〇〇薬局
B	××内科クリニック	△△薬局
C	△△医院	××薬局
D	□□整形外科	＜院内処方＞
E	□□整形外科	＜院内投与＞

2 医師・薬剤師に相談しよう

- このお知らせとお薬手帳を持って行きましょう。気になる症状などをメモして持っていくのも良いでしょう。

相談する 医療機関・薬局	令和 年 月 日 ()
-----------------	----------------------------------



- 薬剤師はあなたのお薬を確認し、必要に応じて医師
におお薬の提案をしてくれます。

- 食欲低下・ふらつき・めまい等の気になる症状があるときも自己判断で薬の服用をやめたり、飲む量を減らしたりしないで、医師・薬剤師に相談しましょう。

医師・薬剤師の皆様方

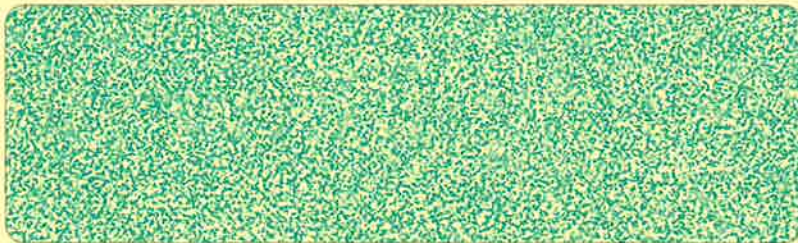
14日以上の処方薬剤が10剤以上ある方や、重複服薬の可能性がある方の処方情報を掲載しています。多剤服用や飲み合わせの観点からも内容のご確認をお願いします。

グループ	調剤日	医薬品名	数量	回数・日数	長期服薬
A	X月 X日	ノイロトロピン錠4単位	4錠	35	
D	X月 X日	カロナール錠300 300mg	3錠	14	
B	X月 X日	カロナール錠300 300mg	3錠	7	
C	X月 X日	ヒアレイン点眼液0. 1% 5mL	3瓶	1	
C	X月 X日	タブコム配合点眼液	5mL	1	
C	X月 X日	ジケアスL X点眼液3% 5mL	3瓶	1	
B	X月 X日	ニコランジル錠5mg 「サワイ」	2錠	30	
B	X月 X日	アムロジピンOD錠5mg 「ファイザー」	1錠	30	
A	X月 X日	ルリコンクリーム1%	30g	1	
A	X月 X日	アスタット軟膏1%	300g	1	
B	X月 X日	アドナ錠30mg	2錠	30	
B	X月 X日	トランサミン錠250mg	3錠	7	
B	X月 X日	ジャディアンス錠10mg	1錠	30	
B	X月 X日	レバグリニド錠0. 5mg 「サワイ」	3錠	30	
A	X月 X日	エピナスチン塩酸塩錠20mg 「サワイ」	1錠	35	
A	X月 X日	ピラノア錠20mg	1錠	35	
B	X月 X日	ユーロジン1mg錠	1錠	30	

令和7年4月時点で処方されていた成分が同一または類似のお薬

[illegible]

- このお知らせは、令和7年2月～令和7年4月の診療情報を基に作成しております。
- お薬の成分ごとに並んでいます。お薬の数が多い場合、すべてのお薬が記載されないことがあります。
- 長期服薬は、内服を合計14日以上処方されているお薬が対象となります。



料金別納
郵便

親展 開封前に必ず宛名をご確認ください。

【発送元】

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋3-5-1

東京区政会館16F

東京都後期高齢者医療広域連合

宛先が異なる場合には、開封せずに封筒の表面に
「誤配達」とご記入いただき、そのままポストに投函してください。

▲
ここから
タブを引上げて
ご開封ください

東京都後期高齢者医療広域連合から、お薬について大切なお知らせです。